

## 会 議 記 録 (概 要)

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	高松市総合都市交通計画推進協議会 平成 26 年度第 1 回市民啓発部会
開催日時	平成 26 年 8 月 7 日 (木) 14 時 00 分～15 時 00 分
開催場所	高松市役所 4 階 会議室
議題	・高齢者公共交通運賃半額事業の広報【案】について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	松木部会長、宮本副部会長、川上委員、野口委員（代理：梶原）、 滝川委員、多田委員、岡田委員、奥廣委員 （欠席委員 2 名：土井委員、前谷委員）
傍聴者	0 人（傍聴席：5 席を確保）
担当課および連絡先	交通政策課 087-839-2138

審議経過及び審議結果
<p>次のとおり、部会を開催した。</p> <p>(部会長)</p> <p>本日は、部会員のうち過半数以上の方が出席しているので、高松市総合都市交通計画推進協議会条例第 7 条第 4 項において準用する第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する。</p> <p>1 議事の協議について</p> <p>(1) 次の議事について協議し、下記の結果となった。</p> <p style="padding-left: 2em;">・高齢者公共交通運賃半額事業の広報【案】について      【事務局より説明】</p> <p>以後審議</p> <p>(部会長)</p> <p>意見、質問などがあれば、お願いしたい。</p> <p>(委 員)</p> <p>本制度の開始により、新規利用が増えると期待している。広報については、高齢者にとって市の広報誌が効果的と考えており、掲載内容を含め、特に注力をいただきたい。</p> <p>(委 員)</p> <p>シニア I r u C a からゴールド I r u C a へのチャージ額の移行は可能か。また、チャージ</p>

額が不足となった場合や更新期限を過ぎると、どうなるのか。

(委員)

移行は可能である。残金不足の場合、I Cカード読取設備でエラー表示となり、仮にそのまま降車した場合、次の利用時に読み取らない仕組みとなっている。更新期限を過ぎた場合も、読み取りされない。身分証明書があれば、窓口にてすぐに更新が可能である。

(委員)

I Cカードを利用した際に、利用額等の表示が見えにくい箇所がある。高齢者には、表示部がもう少し明るい方が見やすいと思う。

(委員)

I Cカードの読取設備は基本的に屋内使用が前提となっている一方で、郊外部の駅の中には、屋外の直射日光にさらされる箇所もあることから、液晶等が劣化していると思われる。更新の際には、改良を検討したい。

(委員)

コミュニティ協議会の会合等において、積極的に周知いただくよう依頼されたい。また、老人クラブ連合会、社会福祉協議会等にも周知を働き掛けていただきたい。

(事務局)

御提言のとおり、関係部局を通じて各機関に周知を働き掛けてまいりたい。

(委員)

高齢者の生きがい、健康増進につながる良い取り組みであり、新たな利用者が増えることから、交通事業者側にもアフターケアをしっかりと行う体制を整えていただきたい。

(委員)

半額となるメリットが大きい反面、本人以外の不正利用が懸念される。

(委員)

更新期限を半年間とすることによって、本人以外の不正利用を防ぐこととしている。

(事務局)

仮に不正利用を目的として、同一人物が、紛失したことを装い、複数枚作成しようとしても登録の段階で前回登録のカード利用が不可となる仕組みとしている。

(副部会長)

カードの交付、更新は有人駅又はバス案内所に限られていることから、バスしか利用しない

方には不便である。

(会 長)

コミュニティバスへのシステム導入が予定されており、支所、コミュニティセンターへの出張販売も検討いただきたい。

(事務局)

現在、導入初期においては、コミュニティセンター等への出張販売について事業者と協議調整中である。

審議終了

## 2 その他

(1) カーフリーデー高松開催に合わせた公共交通利用促進施策について

(2) その他公共交通利用促進策について

(副部長)

私が所属する団体においても、啓発活動を実施している中で、公共交通利用促進の必要性がなかなか伝わらない。なぜコンパクトなまちづくりが必要なのか、公共交通がどのようにかわってくるのかといった考え方を理解いただくのは難しいと痛感している。

(部会長)

公共交通利用促進条例の制定を機会と捉え、積極的に啓発活動を実施すべきである。

(事務局)

条例制定により市の姿勢を示せたが、モビリティ・マネジメント的な取組がまだまだ未成熟であると認識している。他都市では小学校等への教育活動の一環として実施しており、そうした事例も参考にしながら、地道に取り組んでまいりたい。

(3) 事務局より次回部会等について説明

次回部会の開催については、日程調整して連絡させていただく。

閉会

以 上